

# 外郭団体特別委員会審査から①

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が8月6日と19日に開かれ、日本共産党神戸市会議員団の味口としゆき議員、今井まさこ議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

## 8月6日 市長室

公益財団法人 神戸国際協力交流センター

### 厳しい条件なくし 留学生に手厚い支援を

——— 今井まさこ議員

神戸国際協力交流センターは、国際協力・国際交流・多文化共生の推進や留学生支援などの事業をおこなっています。今井議員は、新型コロナウイルスの影響でアルバイトがなくなり、経済的に非常に厳しい状況である外国人留学生のため

に支援を強めるべきと求めました。

#### 答弁ダイジェスト

**専務理事兼事務局長：**アルバイトが減ったり、帰国する飛行機がなくなったりで、非常に困っている留学生は100名くらいと推計している。生活支援の助成事業と有償ボランティア事業の2つの支援を実施している。

**今井議員：**100人は少なすぎる。多くの留学生はスマホを持っている。スマホを使った調査をしてほしい。国の支援では成績優秀という条件がある。神戸に残



って働いてもらうためにも、実態をつかみ、国に対してもっと支援を強めるよう要望すべきだ。

## 8月6日 水道局

一般財団法人 神戸市水道サービス公社

### 競争原理だけで 水道業務をすすめるな

——— 味口としゆき議員

神戸市は人口減少などの問題に伴い、更なる財政状況の悪化が見込まれることから、水道サービス公社がこれまで長年重点的におこなってきた水道メーターの検針・徴収業務は、競争性の導入により、昨年度で撤退しました。味口議員は、検針・徴収業務の撤退による、検針

員として働いていた方の雇用について質問しました。

#### 答弁ダイジェスト

**前田水道局担当部長：**68名中継続雇用が7名、残り61名のうち46名の方が次の受託者のほうで雇用、残り15名は求職中や退職したと聞いている。おおむね順調に整理ができた。

**味口議員：**競争性によって単価が安くなれば、技術的な問題や雇用されている方の条件の悪化も懸念される。

**前田水道局担当部長：**説明会を開いており、雇用条件等については了解の上で



移ったものと考えている。

#### その他の質問

- 水回り相談センターについて

## 8月6日 建設局

神戸市道路公社

### 注意喚起だけでなく 公社として必要な対策を

——— 味口としゆき議員

神戸市道路公社は、西神戸・六甲3つの各有料道路と市内4ヵ所の駐車場の維持管理、料金徴収業務をおこなっています。味口議員は「西神戸有料道路、山麓バイパスの交通量は減っている一方で、

六甲の3つの有料道路は増加傾向にある。アウトレットの影響が大きいのではないかと六甲の有料道路の増加による交通渋滞や環境対策について質問しました。

#### 答弁ダイジェスト

**味口議員：**灘区では、鶴甲の南からは県道95号線に接続し非常に交通量も増えている。昨年の9月には南下したトラックが乗用車にぶつかり石屋川に入って死亡した事故も記憶に新しい。交通渋滞や環境対策についてはどう考えているのか。

**常務理事：**大沢インターの利用者増は29年度と元年度を比較するとアウトレットの影響が増要素。

**道路管理部長：**灘三田線（県道95号線）は過去の交通量を比較しても、最近増えているような状況ではない。事故の件は車両の整備不良の疑いと聞いている。運転者には車の整備とエンジンブレーキをかけるよう注意喚起をしている。

**味口議員：**鶴甲地区の辺りは文教地区だ。必要な対策は今後も打っていただきたい。

## 公営施設内の 民間店舗への休業補償を

——— 今井まさこ議員

神戸市公園緑化協会は、緑化啓発イベント事業をはじめ花壇管理事業などの緑化活動支援事業、一般公園の維持管理や運動施設の維持管理などの公園緑地のマネジメント事業をおこなっています。新

型コロナウイルスの影響で休園になった公園や動物園などの施設内でレストランや売店などを経営している方々は収入がゼロになるという状況に追い込まれています。今井議員は、家賃減免や納付期限の延長など、さらなる支援を求めました。

### 答弁ダイジェスト

**今井議員：**休園によって営業をしたくてもできない方には何らかの支援をしていかなければ生き残れないのではないかと思います。思うがいかがか。

**常務理事：**我々と対等の事業パートナーだ。共倒れにならないようできる限りのことはしていきたいと考えている。

**今井議員：**市長から外郭団体に対し、取引業者における家賃の減免など柔軟な対応を取るよう文書が出されている。コロナの長期化が考えられる。十分な支援がなければ撤退し、次の事業者は来れない。かなりの収入減になっている業者に対しては、この趣旨に沿って対応していただきたい。

## 8月19日 教育委員会

## 地産地消と食育の 推進は一体

給食の役割にふさわしい予算を

——— 味口としゆき議員

一般財団法人神戸市学校給食会は、神戸市立の義務教育諸学校の給食において、安全で良質な食材の調達、食育および地産地消の推進に関する事業をおこない、児童・生徒の心身の健全な育成に寄与することを目的として設立されました。

味口議員は、新型コロナウイルス感染症の影響で3か月休業になった、食材を提供する業者への補償と地産地消の食育の推進について質しました。

### 答弁ダイジェスト

**竹森学校支援部長：**転用できるものは転用したが、廃棄せざるを得ない食材がかなり発生した。国の方針に基づいて食材補償をおこなっている。

**味口議員：**業者の方々は困っていないのか。

**竹森学校支援部長：**何度か協議はさせていただいたが、特に業者のほうから困っているというような話は聞いていない。

**味口議員：**今後、第2波や第3波のことも想定し、頑張ってくれている業者が困らないよう、よく声を聞いて対応していただきたい。また、地産地消と食育の推進は一体の問題だ。生鮮野菜はまだ2割。もっと頑張る必要があるのではないか。

**長谷川事務局長：**給食畑推進事業等の開始により徐々に伸びてきているが、農家の皆さんも高齢化や担い手の不足の深刻化などで、品質確保が難しい。引き続き少しでも上がるように努力を重ねていきたい。

**味口議員：**予算の面でもレベルアップをしていくことが求められる。

**長田教育長：**学校給食として地産地消や食育を推進していくという上で、この充実を予算的にも反映していく必要があるかどうかについては、一度精査をさせていただきたいと思う。これからも充実させていくという方向で取り組んでいきたいと考えている。

**味口議員：**食育は教育そのもので、学校教育は給食に支えられている面も大きい。真剣な検討とそれにふさわしい予算をぜひお願いしたい。

## 8月19日 港湾局

## 市民目線で投資の 必要性再検証を

——— 今井まさこ議員

新型コロナウイルスの感染拡大で、2020年4月から6月期の国内総生産(GDP)速報値が戦後最悪の下落にな

ったと発表され、大きな混乱を招いています。阪神港そのものの貨物量を見ても、対前年度比の実績で外国コンテナ貨物はマイナス6%という大きな数字になっています。今井議員は、新型コロナウイルスが世界中の経済活動に非常に大きなダメージを与えていることから、海外の輸入や多額の投資の必要性を再検証すべきだと質しました。

### 答弁ダイジェスト

**常務執行役員：**阪神港・神戸港そのものの貨物量を見ても、対前年度比マイナス6%と大きな数字となっている。貨物量の維持について、現在鋭意取り組んでいる。コロナ対応としての臨時的なインセンティブの制度を立ち上げた。

**今井議員：**大企業だけではなく、すそ野が広い港の関連の業者も含めて、輸入業に関するいろいろな調査をし、実態をつかんでいただきたい。

**常務執行役員：**事業者の話をよく聞き、可能な限り相談にも乗っていききたいと思っている。

**今井議員：**新型コロナウイルスについては、今後も長丁場の対応が必要になってくると思う。海運事業にとっても、海外と輸入だけに頼るのは見直していく時期だと思う。コンテナバースやガントリークレーンなど、阪神国際港湾株式会社にとってその多額の投資が本当に必要か、しっかりと見定めていくべきだ。

## 9月18日より 9月議会がはじまります

9月18日	本会議 (議案質疑)
23日	常任委員会
24日	
28日	本会議 (代表質疑)
29日	
9月30日～	決算特別委員会局別審査
10月9日	

10月14日	決算特別委員会総括質疑
20日	本会議
21日	常任委員会
22日	
27日	本会議
28日	本会議 (一般質問)

新型コロナウイルスの屋内感染防止のため、本会議および委員会の傍聴をご希望される方は、手洗い・アルコール消毒・マスクの着用、ならびに座席の間隔を空け、身体的距離を確保してお座りいただくようご協力をお願いいたします。

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっています。ぜひご利用ください。